

2015(平成27)年度事業報告  
及び附属明細書

自 2015(平成27)年4月 1日  
至 2016(平成28)年3月31日

107-0052 東京都港区赤坂1-2-2  
公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

## I 概 要

公益財団法人日本音楽財団は、2016年3月末現在、アントニオ・ストラディヴァリ等によって製作された世界最高峰の弦楽器を20挺保有している。

当財団は、これら弦楽器名器を次世代へ引き継ぐ役割を担っていることを念頭に、弦楽器の保守保全に関しては、世界屈指の指定楽器商による定期的なコンディションチェックや修理による保全に加え、当財団による楽器保険の付保やATAカルネの発給による保全も行うなど、最善の方法を講じている。

ATAカルネに関しては、2012年9月にフランクフルト空港の税関にて当財団の楽器が押収されたことを受け、2012年10月よりすべての保有楽器にATAカルネを発給することとした。2013年11月21日、EU諸国の通関においては、一時的な滞在時の職業用具としての楽器の持ち込みは、場合によって申告が不要との規則改正が行われた。しかし、規則の運用詳細が不明なため、当財団としては引き続きATAカルネを発給し楽器の保全に努めている。

当財団は、保有する楽器を、国籍を問わず一流の演奏家や若手有望演奏家に無償で貸与する「楽器貸与事業」を展開している。貸与希望者を毎年一般公募し、現在貸与中の演奏家からの申請も含めて、欧・米・アジアの有識者で構成された楽器貸与委員会で、申請者の活動実績やDVDによる演奏等が総合的に審議される。これにより、選定の透明性が確保され、本事業への信頼度が増している。

楽器の貸与者には年間5回まで、財団の演奏会に無償で協力することを義務付けて演奏会事業を推進している。本年度は、楽器貸与者による演奏会を東京で3回、大阪で1回、兵庫で2回、また、「青少年のためのレクチャーコンサート」は昨年につき、秋田市と北九州市の2都市で開催した。

音楽文化振興・普及のための助成事業（音楽助成事業）では、外部有識者で構成される事業運営委員会によってあらかじめ決められたテーマ（柱）で助成事業を募集している。事業選定も事業運営委員会の審議を経ることで、透明性と客観性を確保している。

上記のような当財団の事業は、主に日本財団の助成金を得て運営・実施している。当財団としては、国内外における音楽文化の発展に寄与するため、今後とも、業務体制の充実を図りながら、事業を一層効率的に実施したい。

## Ⅱ 事 業

### 1. 楽器の保守・保全

当財団は、保有している弦楽器名器を永く次世代へ引き継ぐため、楽器の修理及び調整内容等については慎重に検討し、名器の取り扱いに習熟している世界屈指の楽器商を指定し、保全に努めている。各貸与者に年4回定期的に、指定楽器商による楽器の状態チェックを義務付け、楽器商から当財団に対して、直接報告書(コンディションレポート)を提出してもらうことにより、状態の把握に努めている。さらに、年に一度は同じ目で楽器を見る必要があるという観点から、年4回の定期チェックの内1回は、英国(ロンドン)在住の当財団楽器アドバイザーである Andrew Hill 氏のチェックを受けるようにしている。

貸与中の通常の楽器のメンテナンスや修理費は当財団が全額負担している。これは世界的文化遺産といわれる弦楽器名器に関して、どこで誰がどのような修理をしたかを「管理者」として把握し記録しておくためである。

保有の楽器は製作後約 300 年経過しており、経年による大規模な修理が必要な楽器が出てきている。本年度は、大規模修理の必要な楽器は発生しなかったが、これまでに保有楽器 20 挺のうち 8 挺の大規模修理が完了している。このような定期メンテナンス以外の大規模修理に対応するため、特定費用準備資金(大規模楽器修理)の積立てを行い、資金を確保している。

当財団では楽器貸与事業開始当初より、各貸与者に対して、楽器保全の観点から、高温多湿な地域に持ち込むことや船舶等での演奏を禁止している。また、戦争地域及び治安が不安定な国への楽器持込みも禁じている。さらに、国家権力による楽器の没収の危険のある国については、貸与者の演奏活動に応じて随時指示を出して対応している。中国並びにロシアに関しては不安定要素が多いことから、招聘元が楽器の出入国を保障しない限り楽器の持込みを禁じている。

2012 年 9 月にフランクフルト空港の税関にて当財団の楽器が押収されたことを受けて、2012 年 10 月より、保有する全楽器に ATA カルネを発給している。ATA カルネは、有効期限(1 年)までに楽器を日本に再持込みができない場合は、有効期限が切れた時点で楽器が存在する国の輸入税の支払いを確約するものである。よって、演奏家には ATA カルネ更新のため、毎年来日することを義務付けており、当財団は ATA カルネの更新スケジュール管理に細心の注意を払っている。しかしながら予期せぬ事故により請求される罰金等の支払いに対応するため、特定費用準備資金(楽器保全)の積立を行い、万が一の事故に対応できるように資金を確保している。

楽器保険については、楽器管理者の責任のもと全額を当財団が支払っており、2 社の保険会社と契約し、より良い条件と料率で契約できるよう努力している。

### 2. 楽器の貸与

#### (1) 第 21 回楽器貸与委員会

本年度の楽器貸与委員会は、下記のとおり実施した。

日 時	2015 年 5 月 24 日(日) 11:00~12:30
場 所	オーストリア国ウィーン市 Hotel Sacher Wien 内会議室にて

楽器貸与委員 巻末別紙 3 のとおり  
財団保有楽器 巻末別紙 4 のとおり  
審議事項 現在の貸与状況及び貸与更新について  
新規貸与申請について

#### 会議結果

##### 1) 貸与更新承認(16名)

Hagen Quartet(4名): Lukas Hagen(1st vn)、Rainer Schmidt(2nd vn)、  
Veronika Hagen(va)、Clemens Hagen(vc)

Veronika Eberle、Sergey Khachatryan、Yuki Manuela Janke、Suyoen Kim  
Arabella Miho Steinbacher、Svetlin Roussev、Alina Pogostkina、Ray Chen、  
諏訪内晶子、五嶋 龍、石坂団十郎、Pablo Ferrández

##### 2) 新規貸与

2015年5月開催のベルギー・エリザベート王妃国際コンクールヴァイオリン部門優勝者への副賞として次回コンクールまでの4年間貸与することを承認。

##### 3) 短期貸与用楽器

その他の楽器については、特定の演奏会及びCD録音等のための6ヶ月以内の貸し出しを行うために充てることが承認された。

#### (2) 楽器の貸与状況

2016年3月末現在における保有楽器20挺の貸与状況は、巻末別紙5のとおりである。

##### ①～④ Stradivarius “Paganini Quartet”

貸与者 Hagen Quartet

1680年製 Violin Rainer Schmidt(スイス・ビンニゲン在住)

1727年製 Violin Lukas Hagen(オーストリア・ザルツブルク在住)

1731年製 Viola Veronika Hagen(オーストリア・  
ゼーキルヒェン・アム・ヴァラーゼー在住)

1736年製 Cello Clemens Hagen(オーストリア・ザルツブルク在住)

貸与推薦者 内田光子(ピアニスト)

Franz Welser-Möst(指揮者)

Alexander Pereira(ザルツブルク音楽祭監督)

当該楽器を使用しての演奏 合計33回(聴衆約17,400名)

2013年7月5日より貸与しており、2016年8月31日まで(貸与期間3年2ヶ月)貸与契約を結んだ。

##### ⑤ Stradivarius 1700年製 Violin “Dragonetti”

貸与者 Veronika Eberle(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Sir Simon Rattle(指揮者)

内田光子(ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計48回(聴衆約48,500名)

2009年5月11日より貸与しており、2016年8月31日まで(貸与期間7年4ヶ月)貸与契約を結んだ。

##### ⑥ Stradivarius 1702年製 Violin “Lord Newlands”

貸与者 Suyoen Kim(ドイツ・ベルリン在住)  
貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)  
Jan Latham-Koenig(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 19 回(聴衆約 12,200 名)

同氏は、2014 年に開催した楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2015 年 1 月 20 日より貸与を開始し、2016 年 8 月 31 日まで(貸与期間 1 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑦ Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”

1) 貸与者 Andrey Baranov

貸与期間 2012 年 5 月 29 日～2015 年 5 月 11 日

同氏は 2012 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として上記期間約 3 年間、当該楽器を貸与した。当財団の主催コンサート(後述)に出演した。

2) 貸与者 Ji Young Lim

貸与期間 2015 年 6 月 2 日～次期コンクール 2019 年 5 月まで

当該楽器を使用しての演奏 合計 11 回(聴衆約 28,400 名)

同氏は 2015 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールに優勝し、副賞として上記期間約 4 年間、当該楽器を貸与される。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑧ Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”

貸与者 大谷康子(東京在住)

貸与推薦者 広上淳一(指揮者)

福本ともみ(サントリーホール支配人)

貸与期間 2014 年 12 月 16 日～2015 年 6 月 15 日

2015 年 6 月 16 日～2015 年 12 月 15 日

2015 年 12 月 16 日～2016 年 2 月 29 日

当該楽器を使用しての演奏 合計 80 回(聴衆約 62,800 名)

演奏活動 40 周年記念公演のため

⑨ Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”

貸与者 Svetlin Roussev(フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Myung-Whun Chung(指揮者)

Kyung-Wha Chung(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 45 回(聴衆約 68,500 名)

2012 年 1 月 15 日より“Joachim”を短期で貸与したが、2012 年 2 月 8 日に当該楽器に変更した。2016 年 8 月 31 日まで(貸与期間 4 年 7 ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑩ Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”

貸与者 諏訪内晶子(フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Charles Dutoit(指揮者)

徳永二男(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 48 回(聴衆約 73,100 名)

2000 年 8 月 11 日より貸与しており、2016 年 8 月 31 日まで(貸与期間 16 年)貸与契約を結んだ。

⑪ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”

貸与者 Ray Chen(アメリカ・フィラデルフィア在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 48 回(聴衆約 77,600 名)

同氏は 2009 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を 2009 年 6 月 2 日から 2010 年 9 月 8 日まで貸与(貸与期間 1 年 3 ヶ月)した。その後、2012 年 4 月 11 日より Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”を貸与していたが、2014 年 6 月 19 日に当該楽器に変更した。2016 年 8 月 31 日まで(貸与期間 4 年 5 ヶ月、通算貸与期間 5 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の助成事業コンサート(後述)に出演した。

⑫ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”

貸与者 Arabella Miho Steinbacher(ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Anne-Sophie Mutter(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 66 回(聴衆約 94,700 名)

2005 年 5 月 6 日より 1736 年製 Stradivarius Violin “Muntz ”貸与していたが、2006 年 9 月 4 日より当該楽器に変更している。2016 年 8 月 31 日まで(貸与期間 10 年、通算期間 11 年 4 ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑬ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”

1) 貸与者 Alina Pogostkina(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Sakari Oramo(指揮者)

Thomas Hengelbrock(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 10 回(聴衆約 11,600 名)

2013 年 2 月 28 日より貸与を開始し、2016 年 8 月 31 日(貸与期間 2 年 11 ヶ月:出産のため 2015 年 5 月から 11 月まで 7 ヶ月休業)まで貸与契約を結んだ。本年度は演奏活動一時(出産のため)休業中(2015 年 5 月 27 日より日本に楽器保管)、下記の 2 名に当該楽器を短期貸与した。

2) 貸与者 池田菊衛(元長期貸与者、東京クワルテットメンバー、  
ニューヨーク在住)

貸与期間 2015 年 5 月 27 日～2015 年 6 月 22 日

サントリーホールでの室内楽演奏会出演のため

3) 貸与者 神尾真由子(東京在住)

貸与推薦者 Dmitry Sitkovetsky(ヴァイオリニスト、指揮者)

原田幸一郎(ヴァイオリニスト)

貸与期間 2015 年 7 月 1 日～2015 年 11 月 26 日

演奏活動のため

⑭ Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”

貸与者 五嶋 龍(アメリカ・ニューヨーク在住)

貸与推薦者 Hanna Lachert(ヴァイオリニスト)

建部洋子(ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 29 回(聴衆約 36,600 名)

2013 年 3 月 7 日より短期貸与を開始し、2013 年開催の楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認された。2016 年 8 月 31 日(貸与期間 3 年 6 ヶ月)まで貸与契約を結んだ。

⑮ Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”

貸与者 Radoslaw Szulc (ドイツ・ミュンヘン在住)  
貸与推薦者 Mariss Jansons (指揮者)  
Julia Fischer (ヴァイオリニスト)  
貸与期間 2014 年 12 月 8 日～2015 年 5 月 29 日  
2015 年 6 月 26 日～2015 年 12 月 16 日  
2015 年 12 月 17 日～2016 年 6 月 16 日  
演奏活動のため(短期貸与期間延長)  
当該楽器を使用しての演奏 合計 17 回(聴衆約 24,200 名)

⑯ Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”

貸与者 Yuki Manuela Janke (ドイツ・ドレスデン在住)  
貸与推薦者 外山雄三(指揮者、作曲家)  
Julia Fischer (ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)  
当該楽器を使用しての演奏回数 合計 25 回(聴衆約 10,300 名)  
2007 年 11 月 3 日より貸与しており、2016 年 8 月 31 日まで(貸与期間 8 年 10 ヶ月)  
貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑰ Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”

貸与者 Pablo Ferrández (スペイン・トレドネス在住)  
貸与推薦者 Frans Helmerson (チェリスト)  
Lluís Claret (チェリスト)  
Paloma O'Shea (ソフィア王妃高等音楽院学長)  
当該楽器を使用しての演奏 合計 33 回(聴衆約 44,300 名)  
2014 年 1 月 17 日より貸与しており、2016 年 8 月 31 日(貸与期間 2 年 8 ヶ月)まで貸  
与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に 2 回出演した。

⑱ Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”

貸与者 石坂団十郎(ドイツ・ベルリン在住)  
貸与推薦者 Daniel Barenboim (ピアニスト、指揮者)  
Krzysztof Penderecki (作曲家、指揮者)  
当該楽器を使用しての演奏 合計 48 回(聴衆約 38,400 名)  
2004 年 1 月 29 日より Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”を貸与していた  
が、2014 年 1 月 10 日より当該楽器に変更した。2016 年 8 月 31 日(貸与期間 2 年 8  
ヶ月、通算期間 12 年 7 ヶ月)まで貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演  
した。

⑲ Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”

貸与者 渡辺玲子(東京及びニューヨーク在住)  
貸与推薦者 原田幸一郎(ヴァイオリニスト)  
徳永二男(ヴァイオリニスト)  
貸与期間 2015 年 4 月 1 日～2015 年 9 月 30 日  
2015 年 10 月 1 日～2016 年 3 月 31 日(短期貸与延長)  
当該楽器を使用しての演奏 合計 21 回(聴衆約 10,300 名)  
財団事業協力のため貸与している。今年度は、当財団主催の「青少年のためのレク  
チャーコンサート」(後述)に 2 回並びに大阪での夢コンサート(後述)に出演した。

⑳ Guarneri del Gesu 1740 年製 Violin “Ysaye”

貸与者 Sergey Khachatryan (ドイツ・エッシュボルン在住)

当該楽器を使用しての演奏回数 合計 39 回 (聴衆約 56,700 名)

同氏は 2005 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、2009 年 4 月まで Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins” を貸与 (3 年 10 ヶ月) した。引き続きの貸与の申請があり Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands” を 2009 年 4 月 7 日より 2010 年 10 月 27 日まで貸与。その後、当該楽器へ変更し 2016 年 8 月 31 日 (貸与期間 5 年 7 ヶ月、通算貸与期間 11 年 1 ヶ月) まで貸与契約を結んだ。

### 3. 演奏会の開催

楽器貸与事業の広報を目的とした演奏会を開催した。各演奏会とも実録 CD 等を作成し、関係者へ配布するとともにクラシック音楽専門チャンネルで放送し、事業の周知に努めた。本年度は読売交響楽団とのチャリティ・コンサート等、下記のとおり 8 公演を行った。

(1) 演奏会の名称 Andrey Baranov ヴァイオリン・リサイタル

出演 Andrey Baranov Stradivarius 1708 Violin “Huggins” 使用  
林 絵里 ピアノ

日程 2015 年 4 月 15 日 (水) レセプション 18:00 演奏会 19:00~20:00

会場 浜離宮朝日ホール (東京) 550 席 (全席招待)

主催 日本音楽財団

助成 日本財団

曲目 ショスタコーヴィチ (ドミトリー・ツィガーノフ編曲):  
「24 の前奏曲」作品 34 より「4 つの前奏曲」  
ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第 5 番 へ長調 作品 24「春」  
チャイコフスキー: 「なつかしい土地の思い出」作品 42 より  
「瞑想曲」ニ短調  
チャイコフスキー: ワルツ・スケルツォ ハ長調 作品 34  
ヴィエニャフスキ: 華麗なるポロネーズ 第 1 番 ニ長調 作品 4

来場者数 約 500 名 (全席招待)

(2) 演奏会の名称 Summer Concert 2015

出演 Arabella Miho Steinbacher Stradivarius 1716 Violin “Booth” 使用  
石坂団十郎 Stradivarius 1730 Cello “Feruemann” 使用  
林 絵里 ピアノ

日程 2015 年 7 月 9 日 (木) レセプション 18:00 演奏会 19:00~20:00

会場 浜離宮朝日ホール (東京) 550 席

主催 日本音楽財団

助成 日本財団

曲目 ダヴィドフ: 無言のロマンス ト長調 作品 23  
ダヴィドフ: 泉にて 作品 20-2  
プロコフィエフ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ ニ長調 作品 115  
ラヴェル: ヴァイオリンとチェロのためのソナタ



ハルヴォルセン:ヘンデルの主題によるパッサカリア ト短調  
(ヴァイオリンとチェロ版)

来場者数 約 500 名(全席招待)

(3) 演奏会の名称 第 13 回いずみホール“夢コンサート”

障害を持つ方ととその方々をサポートする家族やボランティアの人たちを無料で招待するコンサートに下記楽器貸与者の出演協力をした。

出 演 指揮: 藤岡幸夫

オーケストラ: 関西フィルハーモニー管弦楽団

ソリスト: 渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz”使用

日 時 2015 年 10 月 7 日(水)14:00~16:00

会 場 いずみホール(大阪) 821 席

主 催 いずみホール(一般財団法人住友生命福祉文化財団)

特別協力 日本音楽財団

協 力 日本財団

招待先団体 大阪市社会福祉協議会、日本ライトハウス、大阪ボランティア協会、視覚障がいサポートボランティア、シミセイハーモニー、全国重度障害者雇用事業所協会、身障者講習会講師

曲 目 チャイコフスキー:「エフゲニー・オネーギン」よりポロネーズ

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲ホ短調 作品 64

グリーグ:「ペール・ギュント」抜粋

(朝・山の魔王の宮殿にて・ソルヴェーグの歌)

シベリウス:「フィンランディア」

来場者数 約 630 名(盲導犬 15 頭、車いす 23 台、ストレッチャー1 台)(全席招待)

(4) 演奏会の名称 青少年のためのレクチャーコンサート

「ベートーヴェンを聴こう」

出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz”使用

江口 玲 ピアノ

日 程 2015 年 10 月 30 日(金)14:00~15:20

会 場 アトリオン音楽ホール(秋田市) 700 席

主 催 日本音楽財団、アトリオン音楽ホール

協 力 日本財団

来場者数 約 530 名(全席招待)

CD 製作 出席した学生等に配布した

(5) 演奏会の名称 Ji Young Lim ヴァイオリン・リサイタル

出 演 Ji Young Lim Stradivarius 1708 Violin “Huggins” 使用

鳥羽亜矢子 ピアノ

日 程 2015 年 11 月 10 日(火)レセプション 18:00 演奏会 19:00~20:00

会 場 浜離宮朝日ホール(東京) 550 席

主 催 日本音楽財団

助 成 日本財団  
曲 目 グリーグ:ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ハ短調 作品45  
ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ長調 作品100  
フバイ:カルメンによる華麗な幻想曲 作品3 第3番  
来場者数 約450名(全席招待)

(6) 演奏会の名称 ストラディヴァリウス チャリティー・コンサート  
パブロ・フェランデス チェロ・リサイタル

出 演 Pablo Ferrández Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford” 使用  
鳥羽亜矢子 ピアノ  
日 時 2015年11月27日(金)18:30~19:40  
会 場 郷の音ホール(兵庫県三田市) 974席  
主 催 公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団  
社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会  
後 援 三田市、三田市教育委員会、三田市音楽協会  
特別協力 日本音楽財団  
協 力 日本財団  
チケット販売 一般2,000円(当日2,500円)  
学生1,000円(当日1,500円) 全席自由  
曲 目 グラナドス:スペイン舞曲集 作品37 第5番「アンダルーサ」  
フォーレ:夢のあとに  
サン＝サーンス:白鳥  
ブラームス:チェロ・ソナタ 第1番 ホ短調 作品38  
パガニーニ:「モーゼ」の主題による変奏曲  
寄付先 子ども発達支援センター・さんだ  
寄付額 1,850,500円(チケット売上全額)  
来場者数 約720名

(7) 演奏会の名称 ストラディヴァリウスの響き PCA ニューイヤー名曲コンサート  
インターナショナル・オーケストラ・アカデミー支援

出 演 兵庫芸術文化センター管弦楽団  
指揮 チャールズ・オリヴィエリ＝モンロー(Charles Olivieri-Munroe)  
Pablo Ferrández Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford” 使用  
Yuki Manuela Janke Stradivarius 1636 Violin “Muntz” 使用  
日 時 2016年1月8日(金)15:00  
会 場 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール(西宮) 2000席  
主 催 兵庫県、兵庫立芸術文化センター  
特別協力 日本音楽財団  
協 力 日本財団  
チケット販売 A席4,000円、B席3,000円、C席2,000円、D席1,000円  
曲 目 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64  
サン＝サーンス:チェロ協奏曲 第1番 イ短調 作品33

ベートーヴェン:交響曲 第7番 イ長調 作品 92  
寄付額 4,682,000 円(チケット売上全額)  
来場者数 約 1,400 名

- (8) 演奏会の名称 子どもたちのためのレクチャーコンサート「名曲への誘い」
- |       |   |  |
|-------|---|--|
| 出演    | 渡辺玲子  | Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz” 使用 |
|       | 江口 玲  | ピアノ                                      |
| 日時    | 2016年2月7日(日)15:00~17:00                           |  |
| 場所    | 北九州市響ホール 720 席                                    |  |
| 主催    | 公益財団法人北九州市芸術文化振興財団                                |  |
| 共催    | 北九州市、北九州市教育委員会                                    |  |
| 特別協力  | 日本音楽財団  |  |
| 協力    | 日本財団  |  |
| 来場者数  | 約 550 名(全席招待)                                     |  |
| CD 配布 | 当日と同じプログラムの実録 CD(2014 年度実施の秋田録音分)を来場した子どもたちに配布した。 |  |

#### 4. 音楽文化振興・普及のための助成

助成事業の募集は、外部有識者で構成される事業運営委員会で決定されたテーマに沿ってホームページで行っている。また、事業の決定についても同委員会の審議を経て決定している。(本年度事業運営委員名簿は、巻末別表 3)

本年度は、昨年度同様、楽器貸与者による財団主催の演奏会を国内外各地でも積極的に開催するために、それぞれの地域にあった集客ができるパートナー(共催者)を育成することを目的とする「パートナーの育成」及び「若手の育成」の 2 つの柱を中心に募集したところ、19 事業の申請があった。本年度分より年度初めの事業を支援できるように第 1 回目の委員会は前年度中の開催とした。

##### 2015 年度事業運営委員会開催

第 1 回事業運営委員会 2015 年 3 月 18 日 14:00~16:00

第 2 回事業運営委員会 2015 年 7 月 27 日付(書面)

上記委員会で決定した 4 事業については、下記のとおりである。

(助成額合計 7,081,400 円)

##### 「パートナー育成」4 事業(①~④)

今年度は国内 2 事業、海外 2 事業の 4 事業に支援した。今回支援したどの事業も当初期待した成果が出ている。今回培った協力関係で、今後、音楽助成事業としてだけでなく、演奏会事業として当財団と演奏会を共催していくことが期待できた。

##### ① ヴィオラスペース 2015 第 3 回東京国際ヴィオラコンクール

主催 東京国際ヴィオラコンクール実行委員会

日時 2015 年 5 月 30 日(土)~6 月 13 日(土)

場所 上野学園石橋メモリアルホール(東京)

助成額 2,000,000 円

##### ② Castleton Alive 2015 音楽教育アウトリーチプログラム

主 催 The Châteaueville Foundation (USA)  
日 時 2015 年 6 月～8 月  
場 所 Castleton Farm ヴァージニア州 USA  
助成額 1,905,000 円 (15,625USドル相当額)

③Krzyszowa-Music Workshop with Junior Musician

主 催 Krzyszowa-Music (ドイツ)  
日 時 2015 年 8 月 15 日 (土)～9 月 6 日 (日)  
場 所 Kreisau Circle Krzyszowa (ポーランド)  
助成額 1,376,400 円 (10,000 ユーロ相当額)

④オーケストラの日 2016

主 催 (公社)日本オーケストラ連盟  
日 時 2016 年 3 月 31 日 (火) 15:00～16:45  
場 所 文京シビックホール (東京) (1,802 席)  
出 演 オーケストラの日祝祭管弦楽団  
川瀬賢太郎 (指揮)  
ソリスト: Ray Chen (Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim” 使用)  
助成額 1,800,000 円

## 5. 広報活動

日本音楽財団の事業活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団冊子 (日本語、英語併記) を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページ (日本語、英語) にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会の CD、DVD を作成し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布している。本年度作成した CD、DVD は以下のとおり。
  - 1) アンドレイ・バラノフ・ヴァイオリン・リサイタル CD (2015 年 4 月 15 日東京収録)
  - 2) サマー・コンサート 2015 CD (2015 年 7 月 9 日東京収録)
  - 3) 青少年のためのレクチャーコンサート CD (2015 年 10 月 30 日秋田収録)
  - 4) ストラディヴァリウス・チャリティー・コンサート CD (2015 年 11 月 27 日兵庫収録)
  - 5) ストラディヴァリウスの響き PAC ニューイヤー名曲コンサート CD  
(2016 年 1 月 8 日兵庫収録)
- (4) 楽器貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。
  - 1) 貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていることの実を周知・広報する。
  - 2) 貸与楽器による演奏が、CD、DVD 等の形で制作されるときは、貸与者は、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていることの実を当該制作物に明確に表示する。
  - 3) 貸与者は、年に 1 度、3 月末日に前年 4 月からの演奏会 (開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等) 並びに CD、DVD 制作に関する活動内容報告書を日本音楽財団に提出する。  
楽器貸与者が本年度中にリリースした CD 等は以下のとおりである。

- ① CD: 五嶋龍 “ベートーヴェン クロイツェル・ソナタ、フランク ヴァイオリン・ソナタ”  
(2015年4月)
- ② CD: Svetlin Roussev “Of Fire an Ice” (2015年5月)
- ③ CD: Arabella Miho Steinbacher “Mendelssohn Violin Concerto 他”  
(2015年6月)
- ④ CD: 大谷康子 “大谷康子のお菓子な名曲サロン”(2015年9月)
- ⑤ CD: Alina Pogostkina “Lived and Dreamed” (2015年10月)
- ⑥ CD: 五嶋龍 “リフレクションズ” ベスト・アルバム(2015年10月)
- ⑦ CD: Hagen Quartet “Mozart String Quartets K.387 & K.458”(2015年11月)
- ⑧ CD: 五嶋龍 “LEGENDE”(2015年11月)

(5) 衛星デジタルラジオ局並びに衛星デジタルテレビの協力を得て、当財団主催の国内外の演奏会の実録 CD、DVD を放送し、不特定多数の方々にストラディヴァリウスの華麗な響きを楽しんでもらい、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。特に普段なかなかストラディヴァリウスの演奏に触れる機会のない地方のクラシックファンには、大変喜ばれているとの報告を受けている。2015年度における放送内容は下記のとおりである。

1) 衛星デジタルラジオ MUSICBIRD THE CLASSIC(121ch)

① 放送日:2015年4月25日(土)、4月29日(水)(再放送)

・ハーゲン・クアルテット・コンサート(浜離宮朝日ホール 2014年9月29日収録)

出演:ハーゲン・クアルテット

・パブロ・フェランデス チェロ・リサイタル

(浜離宮朝日ホール 2014年12月11日収録)

出演:パブロ・フェランデス(チェロ)、林絵里(ピアノ)

② 放送日:2016年1月30日(土)、2016年2月11日(木・祝)(再放送)

・アンドレイ・バラノフ・ヴァイオリン・リサイタル

(浜離宮朝日ホール 2015年4月15日収録)

出演:アンドレイ・バラノフ(ヴァイオリン)、林絵里(ピアノ)

・サマー・コンサート 2015 アラベラ・美歩・シュタインバッハー&石坂団十郎

(浜離宮朝日ホール 2015年7月9日収録)

出演:アラベラ・美歩・シュタインバッハー(ヴァイオリン)、

石坂団十郎(チェロ)、林絵里(ピアノ)

2) 衛星デジタルテレビ クラシカ・ジャパン×スカパー!

放送局 BS スカパー

「ストラディヴァリウス・コンサート 2012」(サントリーホール、2012年9月10日収録)

放送月日

2015年8月23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、9月6日

(6) 音楽雑誌、新聞、その他マスメディアの取材要請、財団保有楽器の写真提供要請に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。2015年度における主な掲載記事の内容は以下のとおりである。

1) サラサーテ 2015年10月号

2015年7月9日開催「サマー・コンサート 2015」記事

2) 秋田さきがけ新聞 2015年10月26日付

2015年10月30日開催「青少年のためのレクチャーコンサート」関連渡辺玲子氏のインタビュー記事

3) il Cremonese 1715 300 周年記念誌へ楽器写真提供

イタリア・クレモナのストラディヴァリウス財団出版の 300 周年記念誌に財団保有楽器 Stradivarius 1715 Violin “Joachim”の写真提供

4) 神戸新聞 2015年11月19日及び11月27日付

2015年11月27日開催「ストラディヴァリウス・チャリティー・コンサート」関連記事

5) サラサーテ 2016年4月号(3月5日発売)

楽器 Stradivarius 1736 “Muntz”の撮影協力及び貸与事業について当財団理事長及び有希マヌエラ・ヤンケ氏のインタビュー記事

6) その他

### Ⅲ 総 務

#### 1. 役員 の 異 動

2015年7月30日に前和男評議員が逝去された。年度末現在の理事・監事の名簿は巻末別紙1、評議員の名簿は巻末別紙2のとおりである。

#### 2. 理 事 会

本年度は、理事会を下記のとおり2回開催した。

##### 2015年度第1回理事会

開催日 2015年6月10日(水) 11:00~12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

##### 議決事項

第1号議案 2014年度事業報告及び決算について

第2号議案 評議員会の招集について

##### 2015年度第2回理事会

開催日 2016年3月11日(金) 11:00~12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

##### 議決事項

第1号議案 2016年度事業計画及び収支予算について

付帯決議案 事業計画の若干の字句の修等は、会長に一任する  
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は、  
会長に一任する

第2号議案 次期理事、監事、評議員の推薦について

第3号議案 評議員会の招集について

#### 3. 評 議 員 会

本年度は、評議員会を下記のとおり2回開催した。

##### 2015年度定時評議員会

開催日 2015年6月25日(木) 11:00~12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

##### 議決事項

第1号議案 2014年度事業報告及び決算について

##### 2015年度臨時評議員会

開催日 2016年3月11日(金) 13:30~14:10

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

## 議決事項

第1号議案 2016年度事業計画及び収支予算について

付帯決議案 事業計画の若干の字句の修等は、会長に一任する  
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は、  
会長に一任する

## 4. 登記事項

2015年8月25日 評議員変更登記(1名削除)

## 5. 主務大臣(内閣府)への届出等

2015年6月26日 2014年度事業報告及び決算報告書届

2015年8月31日 評議員登記事項変更届(1名削除)

2016年3月25日 2016年度事業計画及び収支予算書届

## 6. 公益認定委員会(内閣府)の实地検査

2016年1月22日に認定3年後の立入検査が行われ、2012年度から2014年度の事業運営等の確認がされた。

## 7. 外部監査の実施

本年度も永和監査法人に監査を委託し、期中監査を2016年3月に実施し、期末監査を2016年5月に実施した。

## 8. 事務局

事務所を東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル5階に置き、業務を遂行した。

年度末現在の事務局役職員数は常勤役員2名、職員6名、派遣スタッフ1名、計9名(うち育児休業2名)である。



別紙 1

公益財団法人日本音楽財団理事・監事名簿

(2016年3月31日現在、敬称略)

会 長	小 林 實	(一財)地域活性化センター顧問
理 事 長	江頭(塩見)和子	常 勤
常務理事	檜 林 欣 也	常 勤
(以下理事、監事はアルファベット順)		
理 事	海 老 澤 敏	尚美学園大学大学院名誉教授
理 事	福 田 博	西村あさひ法律事務所顧問弁護士
理 事	福 井 俊 彦	元日本銀行総裁 (一財)キヤノングローバル戦略研究所理事長
理 事	長 谷 川 和 年	世界平和研究所監事及び研究顧問 元駐オーストリア特命全権大使
理 事	畠 山 向 子	(公財)畠山記念館館長
理 事	日 野 原 重 明	学校法人聖路加国際大学名誉理事長
理 事	児 玉 幸 治	(一財)機械システム振興協会会長
理 事	松 木 康 夫	新赤坂クリニック名誉院長
理 事	新 田 勇	元(株)東芝専務取締役
理 事	斉 藤 邦 彦	元駐アメリカ合衆国特命全権大使 学校法人北鎌倉女子学園理事長
理 事	佐 治 俊 彦	毎日新聞社社友
監 事	垣 見 隆	弁護士
監 事	山 内 悦 嗣	公認会計士

## 公益財団法人日本音楽財団評議員名簿

(2016年3月31日現在、敬称略)

(アルファベット順)

相川直樹	慶応義塾大学名誉教授
荒蒔康一郎	元麒麟ホールディングス(株)会長
海老沢勝二	学校法人大隈記念早稲田佐賀学園副理事長
藤井宏昭	国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長
木全ミツ	認定NPO法人JKSK女性の活力を社会の活力に会長
清原武彦	産経新聞社取締役相談役
小林道夫	ピアニスト、チェンバロ奏者
奈良久彌	(株)三菱総合研究所特別顧問
尾形武寿	(公財)日本財団理事長
須磨久善	心臓外科医
丹治誠	元日本銀行理事

## 事業委員名簿

(2016年3月31日現在、敬称略)

### 楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

委員長 Simon Rattle	指揮者
(以下委員はアルファベット順)	
委員 Marta Casals Istomin	元マンハッタン音楽院学長
委員 Ana Chumachenco	ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授
委員 Kyung-Wha Chung	ヴァイオリニスト、ジュリアード音楽院教授
委員 海老澤 敏	当財団理事
委員 Yvan de Launoit	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール副理事長
委員 Curtis Price	オックスフォード大学ニュー・カレッジ学長
委員 江頭(塩見)和子	当財団理事長

### 2015年度事業運営委員

(アルファベット順)

委員 藤掛 廣 幸	作曲家
委員 岩 井 宏 之	音楽評論家
委員 川 本 統 脩	洗足学園音楽大学講師
委員 齋 藤 一 郎	東京藝術大学名誉教授
委員 江頭(塩見)和子	当財団理事長

## 財団保有楽器の概要

(2016年3月31日現在)

### **Stradivarius "Paganini Quartet"**

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその1つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

日本音楽財団は1994年2月にアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

### **1700年製 Stradivarius Violin "Dragonetti"**

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。日本音楽財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

### **1702年製 Stradivarius Violin "Lord Newlands"**

イギリスのニューランズ卿(1890～1929)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年にバースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガエルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じるという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

### **1708年製 Stradivarius Violin "Huggins"**

イギリスの天文学者であるウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が、1880年頃ウィーンの皇帝からこの楽器を購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。日本音楽財団は1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

### **1709 年製 Stradivarius Violin "Engleman"**

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約 150 年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エンゲルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996 年 5 月に当財団が購入したものである。

### **1710 年製 Stradivarius Violin "Camposelice"**

このヴァイオリンは、1880 年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。1937 年にはクレモナ古楽器名器展にキューネ博士のコレクションとして展示された。日本音楽財団が購入する前は、30 年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていたため、楽器の内側の状態はオリジナルのままである。

2004 年 9 月に当財団が購入したものである。

### **1714 年製 Stradivarius Violin "Dolphin"**

1800 年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスが優美な"イルカ"を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715 年製「アラード」、1716 年製「メシア」に並ぶ世界 3 大ストラディヴァリウスの 1 つと呼ばれている。また、巨匠ヤッシャ・ハイフェッツ (1901～1987) が愛用していたことでも知られている。

2000 年 2 月に当財団が購入したものである。

### **1715 年製 Stradivarius Violin "Joachim"**

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム (1831～1907) が所有していたストラディヴァリウス 1715 年製ヴァイオリン 5 挺の内のひとつである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・アラニに遺贈されたことから「ヨアヒム=アラニ」という名前でも知られている。日本音楽財団が購入するまでは、アラニ家によって代々受け継がれてきた。

2000 年 9 月に当財団が購入したものである。

### **1716 年製 Stradivarius Violin "Booth"**

1855 年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した 2 人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931 年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミシャ・ミシャコフ (1896～1981) の手にわたり、1961 年にはニューヨークのホッティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999 年 1 月に当財団が購入したものである。

### **1717 年製 Stradivarius Violin "Sasserno"**

1845 年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894 年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906 年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、それ以後 90 年以上にわたり同家で大切に保管されていたため、製作時のままのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999 年 5 月に当財団が購入したものである。

### **1722 年製 Stradivarius Violin "Jupiter"**

このヴァイオリンは、1800 年頃にイギリスの偉大なコレクター、ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナル・ニスも全体に十分残っている。近年では、日本を代表するヴァイオリン奏者のひとり、五嶋みどり(1971～)が演奏していた。

1998 年 5 月に当財団が購入したものである。

### **1725 年製 Stradivarius Violin "Wilhelmj"**

1866 年以降、約 30 年間この楽器を所有していた著名なドイツのヴァイオリン奏者、オウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者として華のあるうちに引退したい」との理由で、50 代の若さで楽器を手放したという。

2001 年 6 月に当財団が購入したものである。

### **1736 年製 Stradivarius Violin "Muntz"**

楽器内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92(92 歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスが楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874 年以降、英国の収集家ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737 年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器のひとつとして知られている。

1997 年 7 月に当財団が購入したものである。

### **1696 年製 Stradivarius Cello "Lord Aylesford"**

アマチュア奏者として有名であったイギリスのアイレスフォード卿が 1780 年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約 100 年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946 年にはアメリカ・フィラデルフィア在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950 年から 1965 年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や 35 枚のレコーディング

のために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

### **1730年製 Stradivarius Cello "Feuermann"**

アントニオ・ストラディヴァリが製作したうち、現存するチェロは、約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点の特徴である。1934年から世界的に著名なチェロ奏者、エマヌエル・フォイアマン(1902～1942)が長年にわたり演奏活動に使用したことから、この名前と呼ばれている。フォイアマンは齋藤秀雄が師事したこともあり、日本でもよく知られている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

### **1736年製 Guarneri del Gesù Violin "Muntz"**

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ(グアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。イギリスの収集家ムンツが一時期所有していたことから、この名前で親しまれている。日本音楽財団はストラディヴァリとデル・ジェスによって同じ1736年に製作された2挺の「ムンツ」を保有しており、それぞれの楽器の音色の特色を聴き比べるために、両方の楽器を使用したコンサートを開催している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

### **1740年製 Guarneri del Gesù Violin "Ysaye"**

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれている。イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した名器としても知られ、その後、1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり生涯愛用された。この楽器は日本音楽財団が1998年に、スターンから譲り受けたものである。

1998年3月に当財団が購入したものである。

以上、当財団はストラディヴァリウス・ヴァイオリン14挺、ストラディヴァリウス・チェロ3挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ1挺、グアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺の合計20挺の弦楽器を保有している。

楽器名と貸与者一覧

2016/3/31現在

	楽器名	貸与演奏家	貸与開始	備考
(長期貸与)				
	Antonio Stradivari "Paganini Quartet"	Hagen Quartet		
1	Violin 1680	Rainer Schmidt	2013/7/25	ビンニゲン(スイス)在住
2	Violin 1727	Lukas Hagen	2013/7/22	ザルツブルク在住
3	Viola 1731	Veronika Hagen	2013/8/4	ゼーキルヒェン・アム・ヴァラーゼー(オーストリア)在住
4	Cello 1736	Clemens Hagen	2013/7/18	ザルツブルク在住
5	Antonio Stradivari 1700 Violin "Dragonetti"	Veronika Eberle	2009/5/11	ベルリン在住
6	Antonio Stradivari 1702 Violin "Lord Newlands"	Suyoen Kim	2015/1/20	ベルリン在住
7	Antonio Stradivari 1708 Violin "Huggins"	Ji Young Lim	2015/6/2	ソウル在住 2015年エリザベートコンクール優勝者
8	Antonio Stradivari 1710 Violin "Camposelice"	Svetlin Roussev	2012/1/15	パリ在住 2012/1/15-2/8 Joachim 貸与 2012/2/8 よりCamposelice 貸与
9	Antonio Stradivari 1714 Violin "Dolphin"	諏訪内晶子	2000/8/11	パリ在住
10	Antonio Stradivari 1715 Violin "Joachim"	Ray Chen	2009/6/2	フィラデルフィア在住 2009年エリザベートコンクール優勝Huggins 貸与 (2009/6/2-2010/9/8) 2012/4/11よりLord Newlands 貸与 2014/6/19よりJoachim 貸与
11	Antonio Stradivari 1716 Violin "Booth"	Arabella Miho Steinbacher	2005/5/6	ミュンヘン在住 2005/5/6よりStrad. Muntz 貸与 2006/9/4よりBooth 貸与
12	Antonio Stradivari 1717 Violin "Sasserno"	Alina Pogostkina	2013/2/28	ベルリン在住
13	Antonio Stradivari 1722 Violin "Jupiter"	五嶋 龍	2013/3/7	ニューヨーク在住
14	Antonio Stradivari 1736 Violin "Muntz"	Yuki Manuela Janke	2007/11/2	ドレスデン(ドイツ)在住
15	Antonio Stradivari 1696 Cello "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández	2014/1/17	トレド(スペイン)在住
16	Antonio Stradivari 1730 Cello "Feuermann"	石坂団十郎	2004/1/29	ベルリン在住 2004/1/29-2014/1/10 Lord Aylesford 貸与 2013/6/22よりFeuermann 貸与
17	Guarneri del Gesu 1740 Violin "Ysaye"	Sergey Khachatryan	2005/5/31	エッジューホルン(ドイツ)在住 2005年エリザベートコンクール優勝Huggins 貸与 2009/4/7よりLord Newlands 貸与 2010/10/27よりYsaye 貸与
(短期貸与)				
18	Antonio Stradivari 1709 Violin "Engleman"			貸与終了後、楽器商でメンテナンス保管中
19	Antonio Stradivari 1725 Violin "Wilhelmj"	Radoslaw Szulc	2015/6/26	ミュンヘン在住 演奏活動のため契約更新
20	Guarneri del Gesu 1736 Violin "Muntz"	渡辺玲子	2014/10/28	東京、ニューヨーク在住 財団事業協力のため契約延長

長期貸与17挺、短期貸与3挺 現在保有楽器 計20挺



上記のとおり2015(平成27)年度事業報告及び附属明細書を提出いたします。

2016(平成28)年5月31日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 小 林 實 (印)

理 事 長 江 頭 ( 塩 見 ) 和 子 (印)

2015(平成27)年度事業報告及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2016(平成28)年5月31日

監 事 垣 見 隆 (印)

監 事 山 内 悦 嗣 (印)